

下目黒一丁目地区のまちづくりの進め方

本地区の街づくりは、街づくり協議会での話し合いを通じて検討していきます。

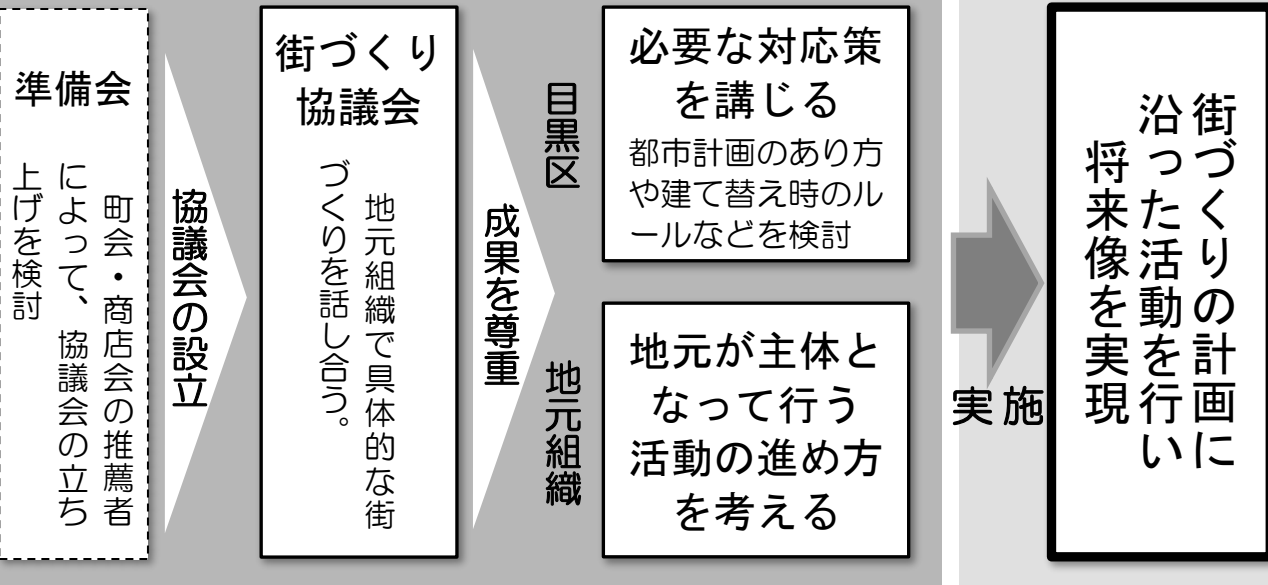
街づくり協議会では、様々な立場の多様な意見や期待などを、それぞれが理解し合い、共有できる街づくりの方向性や方策などについて話し合います。

また、街づくりの具体的な計画を決定する段階では、広く地区内の皆様のご意見をお伺いする機会を設けます。



平成30年度 ~ 平成32年度

平成33年度以降



※街づくり協議会準備会ですすでに、協議会設立に関する話し合いを行っています。
 ※このニュースは、下目黒一丁目地区にお住まいのかた・地区外権利者の方に配布しています。

下目黒一丁目地区

下目黒一丁目地区のみなさまへ

下目黒一丁目地区街づくりニュース

第1号 (平成30年12月)

街づくり協議会委員を募集します！！

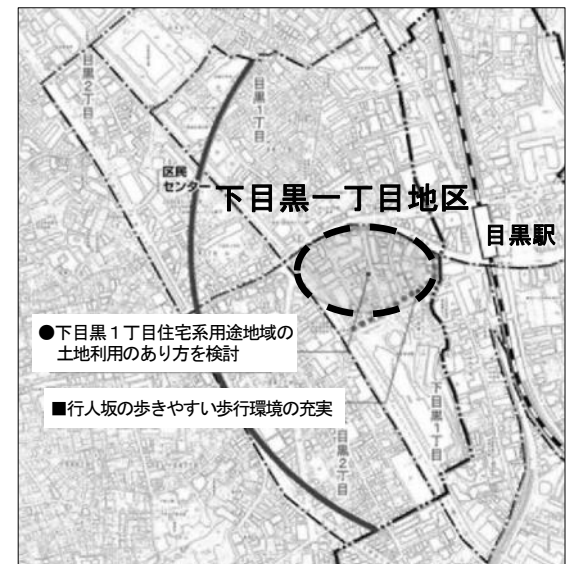
一緒に、これからの街づくりについて話し合いませんか

平成26年に策定された「目黒駅周辺地区整備計画」において、「下目黒一丁目地区^(注)」は、住民等が主体となって土地利用のあり方を検討する地区に位置づけられています。

そこで、区では地区内の皆様が今後の街づくりについて話し合う「下目黒一丁目地区街づくり協議会」を設立したい、と考えています。

協議会で、自分たちの生活環境をより良いものにする話し合いや、活動に参加したいとお考えのかたは、下記の要領で是非、ご応募ください。

注：下目黒一丁目1~7番の区域になります。(2頁、《対象エリアについて》を参照。)



目黒駅周辺地区整備計画 (H26.3) より

《応募方法》

- 協議会委員は、地区内に土地又は建物を所有されているかた、お住いのかた、お勤めをされているかた、地区内で事業を営まれているかたとします。
- 上記に当てはまるかたは、次のいずれかの方法で平成31年1月18日(金)までにご応募ください。
 ※なお、公募による委員は10名程度を予定しており、応募多数の場合は、参加をご遠慮いただく場合がございます。その旨、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

- ①電話による応募: 平日、9時~17時の間に、下記、応募先に直接お電話ください。
- ②ファクシミリによる応募: 頭に「下目黒一丁目街づくり協議会 参加希望」と書き、合せて、お名前、ご住所、お電話番号をお書きの上、下記、応募先にご送信ください。
- ③電子メールによる応募: 件名に「下目黒一丁目街づくり協議会 参加希望」と書き、本文に、お名前、ご住所、お電話番号をお書きの上、下記、応募先にご送信ください。

【応募先】(下目黒一丁目街づくり協議会・準備会事務局)

目黒区街づくり推進部地区整備課地区整備係 (担当: 池田、森下、双木)

TEL: 03-5722-9673(直通) FAX: 03-5722-9239 メールアドレス: nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp

『下目黒一丁目地区』の現況

- 目黒駅前では、目黒セトラルスクエアが昨年 11 月に竣工し、また山手通り沿道では、近年、マンションが多く建てられているなど、本地区周辺の都市環境が変わり始めています。
- 地区内は、権之助坂沿道に商店街が形成され、その南側は、戸建て住宅、集合住宅、事務所などが混在しています。
- かつて、工場等が立地していた工業系用途地域のエリアでは、近年マンション等が多く立地し、土地利用の変化が見受けられます。
- 地区の西側には目黒川が流れ、沿川は、多くの観光客を集める桜並木となっています。



| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

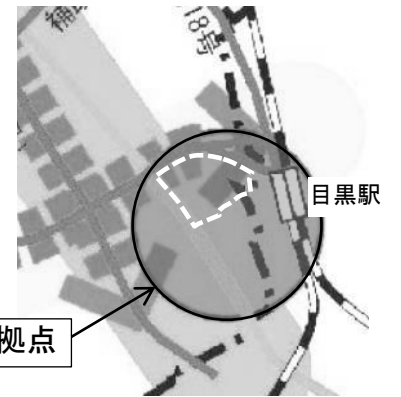
なぜ、『下目黒一丁目地区』の街づくりに取り組むのか？

区では、本地区周辺の都市環境の変化や地区の魅力・課題などを踏まえて、目黒駅直近の広域生活拠点に相応しい街の将来像を検討する必要がある、と考えています。

街づくりの方針

広域生活拠点の形成を目指す

- ◎目黒駅周辺地区は、商業・業務集積地及び文化施設を街の個性として活かし、都市機能の維持・更新を進める。
(目黒区都市計画マスタープラン 16年3月)



広域生活拠点

現 状

下目黒1丁目地区の用途地域のあり方を検討する必要がある

- 権之助坂沿道は、商業系用途地域となっておりその南側は、
- ◎商業系用途地域に囲まれて、住居系用途地域が指定されている。
- ◎かつて工場等が立地していた時に指定された工業系用途地域がある。



地区内の建物のうち約1/4は、耐震上の課題が懸念される昭和56年以前の建物となっている

桜の季節や朝の行人坂では、歩行者が車道を歩いている状況が見られる



地区内外のみどり・歴史資源、イベント、レクリエーション施設等との関係を強めることで、まちの魅力が向上する可能性がある



地区内外の現状、魅力、課題、目黒駅直近である立地を踏まえながら、広域生活拠点としての将来像や街づくりを検討する必要がある